

石クリ通信

11月号

ドラマ好き

看護師

高山 早苗

十月は、新しいテレビ番組が始まる季節です。といつてもこの号が出るのは十一月なので、今秋からまた大好きな相棒シリーズが始まりました。特命係の杉下警部が、相棒の甲斐巡査部長と共にどんな事件の核心にせまわり、解決に導くのだがお手柄は捜査一課のものという、何とも特命係の厄介者でないながらも、事件解決の見事さから、なかなかないがしろにできない、警視庁内部における存在感に引き付けられます。水谷豊や成宮寛貴といった俳優陣もいいですね。さらに「失敗しない女」ドクターXも帰ってきました。フリーランスの外科医、大門美知子超難しい手術を神業的なスピードで行い失敗しない、また医師免許がなくてもできることは「いたしません」というこのフレーズ。けっことはまっています。家の中でも「ご飯のしたく」「いたしません」「〇〇の掃除」「いたしません」なんて飛びかっています。好きなドラマを見ることが、仕事が終わってからの主人と私の共通の楽しみです。

救命講習会で学んだ事

看護助手

柴田 さち子

救命処置の手順（心肺蘇生） ①反応（意識）を確認する。②助けを呼ぶ（大きな声で誰か来て！人が倒れています！）（誰もいない場合は自分で119番通報）。③呼吸を確認する（胸や腹部の動きがあるか）。④胸骨圧迫（心臓マッサージ。1分間に100回のスピードで30回行う）。⑤人工呼吸（30回の胸骨圧迫の後息を1秒（2回まで）かける。胸が持ち上がるのを確認）。⑥心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸の継続。救急隊員が到着するまで続ける）。心肺蘇生法とAEDの使用によって、停止してしまった心臓と呼吸の動きを助ける方法を学びました。とてもいい体験をさせて頂きました。

アイ・アム・芋姉ちゃん

事務

森 絵里子

食べ物の美味しい秋がやってきました！この季節に欠かせないもの、それは「焼き芋」です。二つに割った時の、ホックホクの黄色いお芋からふわ〜と湯気が出る瞬間がたまりません。私の実家のお風呂は新風呂なので、濡れた新聞紙とアルミホイルでサツマイモを包み、釜の中に放り投げてからお風呂に入り、体がしっとり温まった頃に出て、釜からお芋を探します。うっかり長風呂すると灰になってしまうので注意です。私にとつて風呂後の焼き芋は、風呂上がりのビールより幸せなのです☆

武満 徹

事務長 石川 都

音楽の好きな「聴覚」人間の院長に対し、私は活字中毒に近い「視覚」人間である。有名な作曲家の武満徹も作品をあまり知らないまま、武満の文の感性に惹かれ、著作集を全巻持っている。武満の音楽は、琵琶などの邦楽器を使い（黒柳徹子風に言う）、「バシッ」、「ピヨッ」、「ン」というイメージだが、最近私は、武満の音楽は非常に東洋的な自然界の音に近いような気がしている。彼自身、アジアの音楽は「（陽の射し方や雨の降り方で色が変わったりする）草原の音楽」であり、西洋の天才の音楽のように城のようにそそり立っているものではないので、その気候や風俗、生活から切り離してよそに運んでいかれないものだと言う。また（私の好きな作家辻邦生の父）薩摩琵琶演奏家辻靖剛との対談では、辻が毎朝琵琶の音色で心身を洗っているとの言葉に、通常の自己表現としての音楽より、音と人間との一致した禅の無の境地を、邦楽の本質とみなす。私自身若き日に琴をたしなんでいたせいか、武満の音楽には、障子や襖のある家の中で、裏の竹林を過ぎる風の音に耳をすませているような風情を感じてしまう。

日本のウイスキー

事務 久保 直子

最近NHKのドラマの影響か、ウイスキーに注目が集まっているようです。今や日本のウイスキーは、世界の5大ウイスキー（スコッチ・アイリッシュ・バーボン・カナディアン・ジャパニーズ）の1つとなり、有名になりました。私もたまに呑屋で頂きますが、なぜ日本のウイスキーがスコッチウイスキーの流れをくんでいるのかは、ドラマを観るまで知りませんでした。これからは日本人のウイスキーに対する情熱を想い、よりじっくり味わいながら、飲みたいと思います。



ご報告

通信・ウェブ担当

石川 香

「事務の娘は辞めて日立を離れたってゆーけど、結婚でもしたのかねえ」と言われて早二年。しばらくフラフラしてましたが、先日、十月十八日に入籍しました！相手はイギリス人です。院長の義理の弟と、義理の息子が両方イギリス人ということ想像すると、未だにしっくり来ません。「うちの主人」とか「妻」とかもまだくすぐったいです。式は来年の三月の予定。既に喧嘩も多いですが、未永く夫婦円満に暮らしてゆきたいです。

待合室から物が無くなる

院長 石川 悟

今回はあまり愉快ではないお話。開院して三年半経過しましたが、予期しないことがいろいろ起きます。時々ちょっとしたものが無くなるのです。最初は雑誌。最近では「新聞クリップ」。新聞の背側を止めるプラスチックの優れものです。最初は薬品メーカーから頂戴したのですが、紛失してしまふどこに売っているのか、探すのに手間がかかりました。ちよつと見には百円ショップで5本組にして売っているような印象ですが、実は一本三百円もします。行動経済学者の実験（ダン・アリエリー著「予想通りに不合理」ハヤカワ文庫）では、学生寮の冷蔵庫に6本入り缶コーラ1パックと皿に載せた1ドル札6枚を入れておくと、3日後にコーラはすべて無くなってしまったのに、現金はそのままだった。共用の冷蔵庫に入れておいた自分のコーラも無くなった経験があれば、自分のものでなくても1本くらい失敬してもいいだろう、とか、以前に無くなった分の取り返しがおかきや、とか自分を正当化し、ちよつとした悪事を働いてしまうのでしょうか。

新聞クリップにしても、「これ便利だな、一個くらい持って行っても、どうせ安物だから、いくらでも補充できるだろう」などと気軽に持つて行ってしまうのかもしれない。2030円なら（実際は3000円）窃盗罪で訴えられることはまずないだろうと・・・クリップにはマジックでクリニック名を書きました。このクリップは文房具店（ロフトなど）で売っています。どうか大事にしてください。

母娘旅

看護師 澤田 彰子

今年は、母の桜島、姉の砂蒸し風呂、私の鉄道旅という希望を取り入れて九州旅行になりました。母の楽しみにしていた桜島は台風の影響で全景を見ることができなかったのですが、客室、露天風呂から黙々と噴煙を上げている姿を間近で見ることができました。気になっていた天気予報の後の桜島予報（風向きや降灰予報）も早起きしてチェックしてきました。指宿での砂蒸し風呂は、温泉で温められた砂に浴衣のまま寝て15分ほど蒸されるというもので、これでもかというほどの汗をかいてきました。勿論、旅先での美味しいもの「黒豚しゃぶしゃぶ」も食べてきました。関東では「ゴマだれやポン酢で食べますが、そばつゆにたっぷりの青ねぎとゆず胡椒を入れて頂いてきました。あつさりして何枚でも食べられました。鉄道旅は、博多から由布院まで特急「ゆふいんの森」、熊本から鹿児島まで九州新幹線「つばめ」、鹿児島から指宿まで特急「たまた箱」での移動でした。JR九州の列車は皆個性的でレトロな感じが良かったです。時間とお金に余裕ができたクルーズトレイン「ななつ星」で九州をもう一度まわってみたいなあと思います。